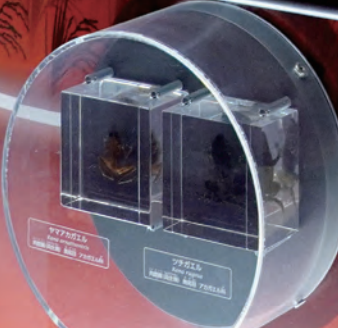


トキをめぐる 共生ネットワーク

日本の絶滅危惧種の代表として知られるトキの背景には、トキを支えるさまざまな生物がいることがわかる。よく知られている「鶴・亀」という関係の他、未曽有とあって、遺体を排除したり、生物どうしの関係はさまざまである。そして、その鶴の目のような関係は、里山から森林へとつながっている。生物の保全には、背景でつながっている生物の多様性を認識する必要がある。

絶滅危惧IB類(EN) コアホウライ *Cathartus* sp.
絶滅危惧IB類(EN) オガサワラノスリ *Buteo buteo toyoshimai*
絶滅危惧IB類(EN) ヒメウ *Phalacrocorax pelagicus*
絶滅危惧IB類(EN) コヤマコウモリ *Nyctalus*
絶滅危惧IB類(EN) アカアシカツオドリ *Sula sula rubripes*
絶滅危惧IB類(EN) オオヨシタドリ *Ceryle alcyon*
絶滅危惧IB類(EN) キセルハゼ *Macropodus chinensis*
絶滅危惧IB類(EN) ナンゴクテンナンゴク *Ardeola* sp.



地球館 1階「トキをめぐる共生ネットワーク」：トキ

1

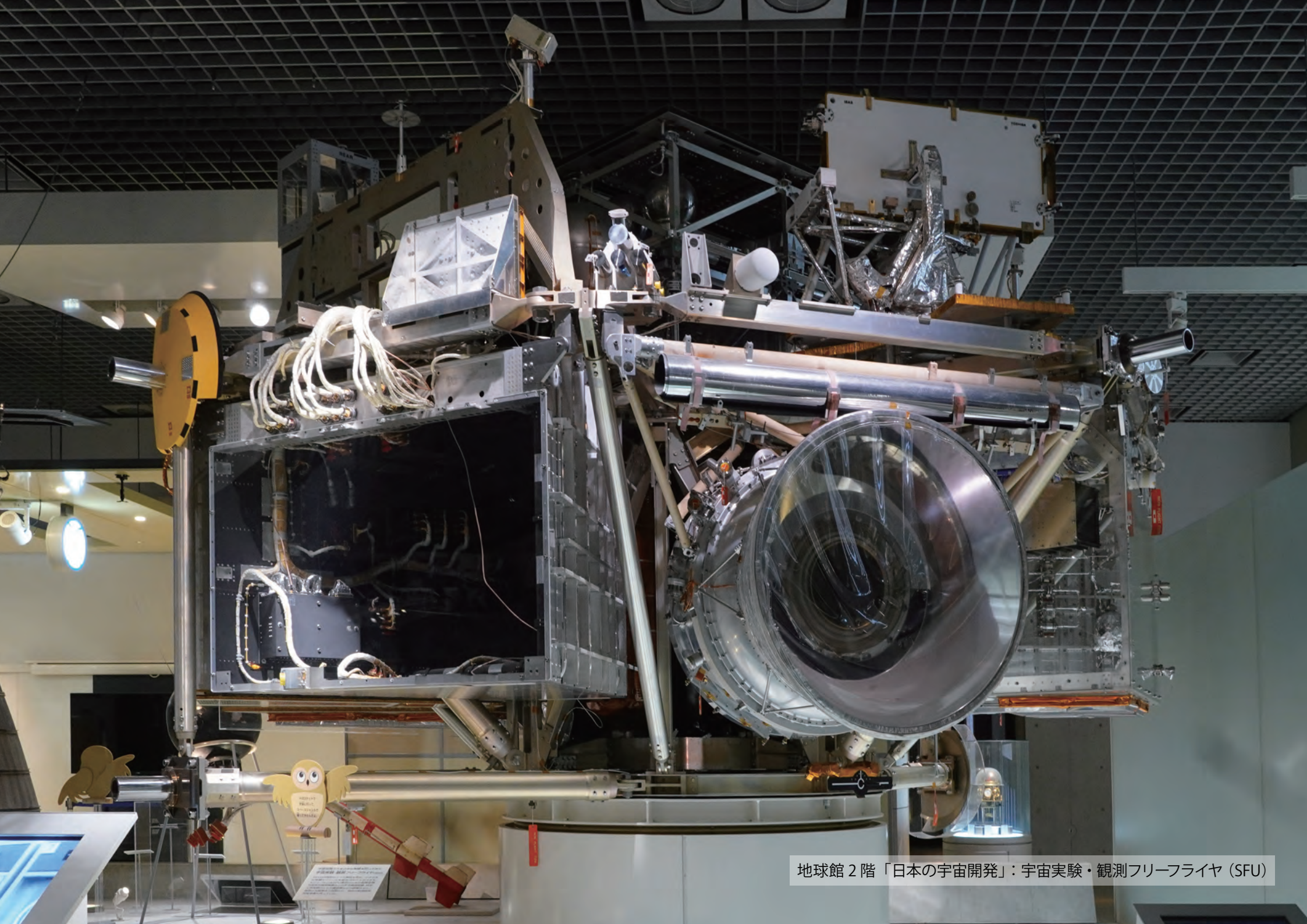
January

12
 1 2 3 4 5 6 7
 8 9 10 11 12 13 14
 15 16 17 18 19 20 21
 22 23 24 25 26 27 28
 29 30 31

2
 1
 2 3 4 5 6 7 8
 9 10 11 12 13 14 15
 16 17 18 19 20 21 22
 23 24 25 26 27 28

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1 元日	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13 成人の日	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

地球館リニューアルの際に絶滅危惧種の展示が企画され、その中で生物のつながりを紹介する展示が構想されました。すべての生物は他の生物と何らかの関係をもって生きています。この「生物相互関係」については、まだ研究すべきことがたくさんあり、新しい関係が現在でも見出されています。ここではトキを中心に、様々な生物とのネットワークのような関係を紹介しています。(植物研究部・細矢)



地球館 2 階「日本の宇宙開発」：宇宙実験・観測フリーフライヤ (SFU)

2025
2
February

1
1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31

3
1
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29
30 31

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11 建国記念の日	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 天皇誕生日	24 振替休日	25	26	27	28	

宇宙実験・観測フリーフライヤ(SFU)は、ちょうど30年前の1995年にHIIロケットで打ち上げられ、宇宙空間で様々な実験を行った後、日本の宇宙飛行士若田光一さんがマニピュレータで掴んでスペースシャトルに回収し、地球に持ち帰られました。宇宙空間で小さなゴミ(スペースデブリ)がぶつかった跡も見られます。(理工学研究部・米田)



附属自然教育園：カタクリ

2025
3
March

2
1
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28

4
1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20 春分の日	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

3月頃、薄紫色の可憐な花を咲かせるカタクリは、早春を彩る花として人気があります。初夏には葉も茎も枯れて地上から姿を消すことから「スプリングエフェメラル（春のはかない命）」と呼ばれる植物の一つです。殺風景な冬が終わり、次々と花が咲きだすこの時期の園内を歩くと、春の訪れを実感できます。（附属自然教育園・下田）



アカメ
Lateolabrax japonicus
スズキ目 アカメ科



オシロコマ
Salvelinus maxillo kraschenetski
サケ目 サケ科



イトウ
Salmo perryi
サケ目 サケ科



オオウナギ
Anguilla japonica
ウナギ目 ウナギ科



ビウコオナマス
Silurus biwaensis
アサギ目 アサギ科

2025

4

April

3

1
 2 3 4 5 6 7 8
 9 10 11 12 13 14 15
 16 17 18 19 20 21 22
 23 24 25 26 27 28 29
 30 31

5

1 2 3
 4 5 6 7 8 9 10
 11 12 13 14 15 16 17
 18 19 20 21 22 23 24
 25 26 27 28 29 30 31

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29 昭和の日	30			

日本列島には個性豊かな淡水魚が生息します。サケ科のイトウは北海道にすむ巨大魚です。成長は遅く、寿命は20年ほどで、毎年春に産卵する点でも他のサケ科とは異なります。日本固有のビワコオオナマズや南日本に生息するアカメやオオウナギとともに、日本が巨大淡水魚の住み家であることを教えてください。（動物研究部・篠原）



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science



筑波実験植物園：ショクダイオオコンニャク

ショクダイオオコンニャクの
実生苗・果実・種子

2025
5
May

4
1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30

6
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3 憲法記念日
4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

筑波実験植物園ではこれまで7回も開花しているショクダイオオコンニャク。2023年に日本で初めて人工授粉での結実に成功し、果実の成長変化を観察することができました。右写真の白い鉢皿に赤い果実と黒っぽい種子があり、5つの鉢は種子から発芽した実生です。植物園ではすすく育っている実生苗がご覧になれます。(植物研究部・堤)



神子柴文化の石器

レプリカ

神子柴遺跡（長野県）

保管：上伊勢郷土館

縄文文化の始まり

氷期も終わりに近づき気候が温暖化していった1万5000年前ごろになると、日本列島に世界最古級の土器が現れ、縄文時代がはじまった。最古の土器と関連して各地で見つかっているのが、優美な石斧などを含む、神子柴文化の石器群である。これらは北アジアの文化要素と関係があるとされるが、土器を含め縄文文化と縄文人の起源についてはまだ謎が多い。



2025

6

June

5

1 2 3
4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17
18 19 20 21 22 23 24
25 26 27 28 29 30 31

7

1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 31

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

千葉県千葉市の「有吉北貝塚」は縄文時代中期の集落跡です。この貝塚からはハマグリなどの貝、シカやイノシシの骨と歯、魚の骨などが出土しています。貝塚は貝殻だけでなく、動物や人骨、土器や石器などの文化的遺物を含み、昔の生活情報が詰まった遺構ですが、食物残渣に注目すると当時の食べ物が分かります。（人類研究部・瀧上）



国立科学博物館

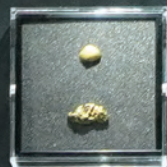
National Museum of Nature and Science



灰重石
大分県



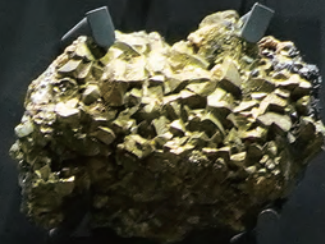
リチア雲母
オーストラリア



自然金 (砂金)
福島県(河)



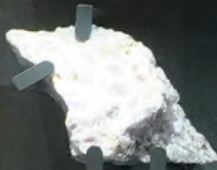
銀
青森(北山)



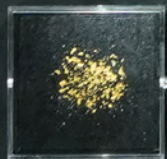
黄銅鉱
埼玉県(父山)



合成黒鉛
山梨県(甲府市)



合成ダイヤモンド
カナダ



合成銀



合成黒鉛
山梨県(甲府市)



合成ダイヤモンド



地球館地下2階「地球の営みの記録」：輝安鉱

2025
7
July

6
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30

8
1 2
3 4 5 6 7 8 9
10 11 12 13 14 15 16
17 18 19 20 21 22 23
24 25 26 27 28 29 30
31

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21 海の日	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

愛媛県西条市市之川鉱山産の輝安鉱は、アンチモンと硫黄の化合物で、合金や難燃剤の原料として重要な鉱石です。明治中期、この鉱山では大型結晶が多産し、世界的に有名になったが、多くが海外に流出しました。国内に残る希少な標本の一つであり、同様の標本は大英自然史博物館やスミソニアン博物館にも展示されています。(地学研究部・門馬)

一本の木にすむ昆虫とクモ

熱帯雨林の一本の木にはどれほどの昆虫やクモが生息しているのだろうか？ フォギングによる調査を行った結果、約1,700種、12,000頭を超える昆虫とクモ類が得られた。最も個体数が多かったのはトビムシとアリで、甲虫やハエも種数、個体数ともに多い。カゲロウなどの水生昆虫やサソリなど、意外な虫たちも高い木の上に生活している。

調査場所：マレーシア エンダウ＝ロンピン自然保護区
調査年月日：2003年7月6日

調査木データ

樹種：Koompassia excelsa (マメ科)
樹高：約50m 胸高直径：80cm～1m

クモ類 昆虫類

調査で得られた総種数
1,705 種

- サソリ目 1種
- サトウムシ目 7種
- カニムシ目 5種
- ダニ目 9種
- トビムシ目 26種
- イシノミ目 12種
- カゲロウ目 4種
- トンボ目 2種
- シロアリ目 4種
- ゴキブリ目 11種
- カマキリ目 1種
- バッタ目 29種
- ハサミムシ目 2種
- ナナフシ目 2種
- シロアリモドキ目 8種
- シロアリ目 49種
- チャタテムシ目 56種

クモ目 217種

ハチ目 (アリ) 95種

コアリ目 (アリ除く)

2025

8

August

7

1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 31

9

1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11 山の日	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

地球館の常設展示では、アジア熱帯雨林の多様性を具体的な数字で示すため、マレー半島の熱帯雨林で、「フォギング」という方法で調査された、1本の木にすむ昆虫とクモ類の実物標本を展示しています。調査対象のマメ科の超高木から1,705種、12,382個体の昆虫とクモ類が発見されました。（動物研究部：野村・井手・神保）



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

I
12

日本列島の地質

Geology of the Japanese Islands
日本列島の地質
일본열도의 지질

日本列島には、海洋プレートの沈み込みの歴史が刻まれている。海洋プレートが大陸の縁辺部に沈み込むことによって形成される付加体は、西日本ではいくつかの帯状の分布として見ることができる。一方、大陸の一部として形成された片麻岩や花崗岩は飛騨帯と呼ばれる日本海側の北陸地域に分布している。また日本列島が大陸から引き離されて縁海(日本海)が誕生した記録は、主に日本海側に残されている。日本海沿いに分布するグリーンタフ(緑色凝灰岩)は、この時代を代表する岩石である。



2025
9
September

8

1 2
3 4 5 6 7 8 9
10 11 12 13 14 15 16
17 18 19 20 21 22 23
24 25 26 27 28 29 30
31

10

1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 敬老の日	16	17	18	19	20
21	22	23 秋分の日	24	25	26	27
28	29	30				

当館の名誉研究員である齋藤靖二、千葉トキ子、横山一己が現役中に自ら採集し、全国から集めた実物の岩石で作製した地質図。岩石を実験室の岩石カッターで切りそろえ磨きあげて作成した。かつて新宿分館の壁面に組み込まれていたが、本館の耐震工事と展示更新の際に移築したものである。（地学研究部・佐野）

The Father of Museums in Japan

TANAKA Yoshio

(1838—1916)

Before and after the Meiji Restoration, Japan was very receptive to both Western culture and science and there was a great need for scientific education and activities to help spread such knowledge throughout society.

Baron Yoshio Tanaka was a key figure in the witchover from the Japanese “Honzogaku” approach to the study of natural history, and through his publications and exhibitions introduced the Western field of natural history to the public.

Tanaka also realized his dream of creating a museum, zoo, botanical gardens and library as research and educational institutions in the Ueno Area.

He is the one of contributors to the modernization of Japan.



博物館の父

た なか よし お

田中芳男

(1838—1916)

明治維新の時代、西洋科学を受け入れた日本の社会がまず必要としたのは、その研究・教育・普及であった。

田中芳男は、数多の博物学的な訳書・著書や博覧会によって、古来の本草学を自然科学へ移行させるとともに、広く人々に紹介することに成功した。

そしてこの上野の地に、研究・啓蒙機関としての博物館、動物園、植物園、図書館の創設を構想し、実現した。

日本を近代化した人物の1人である。

2025
10
October

9

1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30

11

1
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29
30

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13 スポーツの日	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

日本の博物館の父、田中芳男（1838－1916）の功績を紹介するプロジェクションマッピング。田中は1871（明治4）年に発足した文部省博物局に勤務。1877年に第1回内国勧業博覧会を成功させ、その会場となった上野に、博物館、動物園、植物園などを含む日本初の博物館計画を構想し実現させた博物学者である。（植物研究部・北山）

2025
11
November

10
1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31

12
1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 31

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3 文化の日	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 勤労感謝の日	24 振替休日	25	26	27	28	29
30						

2020年に落下した習志野隕石を含め、日本に落下した隕石全54種の内、26種の実物を展示しています。
日本地図上に落下地点を示していますので、お住まいの近くなどに落下した隕石を探してみたいはいかがでしょうか。
(理工学研究部・米田)



地球館地下2階「新人の拡散 北部ユーラシアへ」：スンギール遺跡の墓

2025

12

December

11

							1
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30							
1							
			1	2	3		
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

スنگール遺跡はロシア連邦西部に位置した後期旧石器時代の遺跡で、ここから出土した2人の子どもの埋葬を複製したのがこの展示です。10歳前後の人骨と共にマンモスの牙や3000個以上のビーズなど、豪華な副葬品も見つかりました。約3万4千年前の極寒地で丁寧に子ども達を葬った事は、彼らの生活や社会を垣間見せてくれます。(人類研究部・坂上)